

かせぐみ

◎ ありがとうのプレゼント

ペトペトに自分で染めた紙を貼り、ペン立てを
作りました。和紙を自由に折り、水を含ませて
好きな色の絵の具で色をつけ、
絞っていきます。濡らした和紙に筆を
ポンと置くと、色がふわ〜と広がって
「うわー!」「きれい!」「次はこの色する〜」と
楽しんでいて子どもたちです。順番に



2人ずつ進めていたので、遊びながらも自分の番が
来るのを今か今かと待つ姿がありました。折り畳んで
いた和紙を広げる時は、意外とあっさり反発した
ので、色をつけて染めることが楽しかったようです。宝箱(黄
色い引き出し)を開ける度、「これだよ!」とずっと使うのを
楽しみにしていたのりを使って、染めた和紙をちぎり、貼って
いきます。細かくちぎる子どももいれば、細長くちぎる子ども
など様々でちぎり方や貼り方によってもそれぞれの個性が
出ていました。のりの感触であったり、時間が経つと手づくついで
きたりして苦戦する姿もありましたが、プレゼントの形が見えてくると、
お家の方への感謝の気持ちもイメージしやすく、「いつも一緒に
遊んでくれる」「お父さん頑張ってくれてる」と思い浮かべて作る姿も
見られるようになりました。お家の方へは、渡すまで内緒にしよう
と話していたので、友だちと嬉しそうに顔を合わせ、「内緒だよ!」と
言っていました。大好きなお家の方の存在は子どもたちの中で大きく、作り
おわり色々とお家での楽しかった話やお家の方がしてくれたことなど
欠は私、次は僕とお話が出来ないくらい涙山伝えています。
ありがとうと日常の中でも感謝の気持ちを大切に過ごしていきたいと
思います。

◎ 自分の思い 相手の思い

友だちとのかわりやが活発になってきて、色んな友だちとかわり
の中で、遊びがいっぱい一緒に遊んで、真の合う友だちができて
きたりして、「一緒に遊ぼうよ」「入って」の言葉が聞かれるよう
になってきました。最近では「今日は〇〇ちゃんの横に一緒に遊ぶよ」
「今日は〇〇ちゃんと一緒に遊ぶよ」「明日は〇〇ちゃんといっしょに、自分
の中で今日はこの友だち、明日は別の友だちと決めていて、それぞれ
「つもり」が友だちと噛み合う時もあるが、主張し合ったり、通じ合ったり
することで、もめる場面もあります。相手に言葉で十分に思いを伝えることが
出来ず、手ごたえが自分と相手の思いの違いなどに気が付かず、
激しい思いがぶつかり合う場面が多くあります。その都度仲直りし、
それぞれの思いや「つもり」を伝え合うことで、自分の思いも整理し、
相手の思いにも少しずつ気が付いていくことが出来るようになってきました。
そのためにも一人ひとりの思いやつもりをしっかりと出してあげることも
大切です。これからまたこうした自己主張のぶつかり合いの場面
が沢山出てくると思いますが、自分の思いも出しはがら、お互いに
理解し合うことが大切です。仲直りする中で、相手の立場によって
考えることや「どうしてか」と思うことと一緒に考え合い、共感し、
寄り添っていきたいと思います。

かせぐみ そらたいよう クラスだより

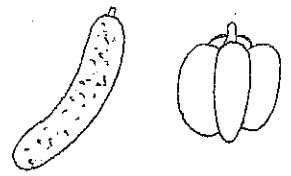


円町まぶね隣保園
2022.6.30

梅雨の時期とは思えないほど、暑い季節ですね。子どもたちも
たくさん身体を動かして流した汗を水あそびやシャワーで流し、
とても気持ちよさそうにしていました。
来月から本格的にプールが始まります。今よりもっと暑くなると思
いますので、水分補給をし、体調の変化には充分に気をつけて過
ぎていきたくありません。

そらぐみ

野菜が大きくなってきました。
5月上旬に植えたパプリカとキュウリ。パプリカは成長はゆっくりですが、小
さな実がぽつぽつとつき始め、キュウリは目に見えて、子どもたちの背より高くつるが
伸びています。毎日の水やりの中で「あ、これ、花さいてる。赤ちゃんや」「大きくな
る、もうちよとかな?」と子どもが自分で気づいた様子で、確認をしています。
また、虫が葉っぱに登ってきていると、「食べにきたんかな?」「あかんで!!」と食
べられるか気にしている姿もあり、野菜に対して興味関心を持つと同時に大事
に思う気持ちも見られました。そらぐみの中には、野菜を食べることが苦手な子
どもも何人かいますが、以前メニューの中にそらぐみを育てている野菜が出て
きた時に、「あ、これパプリカや育てているやつやぞ」と話していると、ハッと気が
ついてパクッと食べていた子どもがいました。
自分たちが大事に育てているものと同じものだと
気づいて頑張って食べていました。栽培の野菜
とともに食材にもこれから興味を持てればいいな
と思いました。



リズムで身体を動かす。
毎週金曜日はクラス合同でリズムをしています。かせぐみの時までは、動いて
楽しむことを中心にしていましたが、そらぐみからは、特に一つ一つの動きを意識し
ながらピアノの動きに合わせて、ピタッと止まる、ゆっくり、早く動く、周りに目を向けて
見るということ意識しています。身体を動かすということは、気持ちの切りかえにも
繋がっているので、ザワザワして気持ちが落ちつかない時には、動くことで集中力も
上がっていきます。
また、以前たいようぐみから、3人組になり、前から一人ずつ順番に同じ動きをし
ていく「兄弟すずめ」のリズムも教えてもらいました。そらぐみの中には、順番に
タイミングよく動くということが難しい子どもも多く、一緒に動き、前の人に
ついていけないといけなところを違う場所に行ってしまうこともありました。
しかし、続けていくとだんだんと理解し、リズムにも乗れるようになり、楽しくなってきたよう
です。一人ひとりが身体を動かして表現することが楽しいと感じられるような活動や体験を
もっと増やしていければと思っています。

たいようぐみ

ザリガニ、け、こんしてるぞ!!
6月16日に広沢の池へザリガニ釣りに行ってきました。
釣れた子どもも、悔しい思いをした子どももいましたが、釣
りをする表情は真剣そのもので1時間、あ、という間に
過ぎていました。みんな釣ったザリガニの数、なんと13匹!!
バケツに入れて連れ帰り、早速トロ船に移動すると、毎日
飽きることなく観望を続けています。ある朝車2匹のザリガニが
抱き合っている所を発見し、「せんせー!!け、こんしてるぞ!!」
と子どもたち。「け、こん」という表現が面白いですね。
言聞ると、やっぱり交尾していたようなので、今はザリガニの
お腹に卵がくっついていないか、「あかちゃん、いつできる
人かなあ...」と見守っています。
グループ当番にも新たに「ザリガニのお世話」がわり、
エサやりや水替えを楽しみにしています。
生き物を飼育する中で命や自然の不思議さ、尊さを知
りてほしいと思います。



なわとび、竹馬頑張ってます!

自分たちでなわとびを三ツ編みし、完成させてから、
お散歩の日には「はしりなわとびするし、なわとびせ、うたい
おすれんといてや」と子どもたちから言ってくるようになり
ました。気持ちと勢いで「やり方は分からんけど」
とりあえずやってみるわ」という子どもも、「ちよと自信ない
から見とこうかな...」と誘いかけても流れている子ども
もいます。それでもひととつとんで〜と走りなわとびの
音が始まると、遠くで見ていた子どもも自然と列に並び
やってみようとする気持ちが出てきました。竹馬も同様ですが
園の前の坂道は下る時かかとを浮かせやすく、コツをつかむ
子どもも多く、ボクが!と積極的に乗りに来るようになって
きました。ちよと難しいけどもう一回やってみよう!次は
できるかも!と年長になると挑戦したい気持ちや、ちよと
元気な根拠も蓄えていることを感じます。

